

◎2018年10月22日 第8回倫理審査委員会

申請者	湘南慶育病院 リハビリテーション部 科長	久保雅昭
研究の課題名	体重免荷装置を使用した平地歩行の比較検討	
研究の概要	本研究は、研究①では対象者を健常者、研究②では骨折後部分荷重での歩行練習が許可された患者とする。研究①では免荷装置を使用した平地歩行とトレッドミル歩行、免荷装置を使用しない平地歩行の3群間の比較を行う。研究②では骨折後部分荷重での歩行練習が許可された入院患者を対象に免荷装置を使用した歩行練習と通常の理学療法における歩行練習の比較を行う。比較には介入前後での評価として、①関節可動域と②筋力測定、③歩行(動作)分析を実施して効果を検証する。各研究の対象者は応募順に通し番号を付け、通し番号から無作為にいくつかの番号を抽出する。抽出した番号に一致するサンプルを調査する。	
判定	修正した上で承認	承認番号 承18-009 ※全員承認で一致した

申請者	湘南慶育病院 リハビリテーション部 科長	久保雅昭
研究の課題名	脳卒中後重度と軽度上肢麻痺患者に対して、CKCアプローチ戦略と免荷装置を使用した治療効果の検証	
研究の概要	本研究は、研究①では健常者、対象にサイドブリッジでのレッドコード条件と無免荷条件(コントロール群)を用いた2群間比較を行う。研究②では中重度上肢麻痺患者、対象にレッドコードを用いた免荷条件でのサイドブリッジを施行する群、コントロール群(免荷条件のないサイドブリッジを施行する。)を用いた2群間の比較を行う。研究③では軽度上肢麻痺患者を対象にレッドコードを利用した上肢伸展条件での肩関節運動する群と通常の作業療法を実施する群の2群間の間の比較を行う。比較には介入前後での評価として、①関節可動域と②柔軟性、③筋電図測定、④動作分析、⑤疼痛を実施して効果を検証する。各研究の対象者は応募順に通し番号を付け、通し番号から無作為にいくつかの番号を抽出する。抽出した番号に一致するサンプルを調査する。	
判定	修正した上で承認	承認番号 承18-010 ※全員承認で一致した